

SDGsにいがた共催

森林資源を通して持続可能なビジネスを描く分科会

～新潟県の豊かな森林資源を守り育て、未来に受け継ぐために何ができるか考えませんか？～

新潟県を取り巻く環境と課題

- ◆県産材利用の減少：県の木材生産額はこの30年で約6分の1に減少。多様な需要に応えられる素材生産が必要になっている。
- ◆市場競争力の不足：素材需給のマッチングや新技術の導入など、森林資源が循環利用される仕組みを整え、競争力を生み出していけないといけない。
- ◆ウッドショック：全国的に輸入木材の価格高騰と供給不足が発生しており、本県においても、輸入木材の入荷遅れなどが発生している。

これからの持続可能な未来を考えると、これまでの枠を超えた発想、そして異業種、他業界との協働が必須です。今回は、『持続可能な森林資源』を題材に、新潟県の企業同士だからこそ考えられる強みを相互に生かし、自組織と自県の持続可能性について、SDGsという考えをもとに議論する機会を創ります。

プログラムの目的

- 新潟県の豊かな森林資源を守り育て、未来に受け継ぐことができる循環型のビジネスを考える

プログラムのねらい

- 1 森林資源について現状を把握し、解決すべき課題について理解を深める
- 2 森林資源において、持続可能な循環型システムについてアイデアを出し合い、発想を広げる
- 3 他業界、異業種との意見交換を通じて、業界や自社の常識を見つめなおす機会とし、新たなネットワーク創出の機会とする
- 4 自組織に置き換えて、できることを考えるためのフレームや考え方を学習する



プログラム概要

応募対象：SDGsに取り組んでいる、またはこれから取り組みを始める組織様

定員：50名様を想定(参加自由)

参加費：無料

実施期間：2021年9月～2022年2月を想定(各回14:00～17:00×6回)

会場：新潟メディアシップ 2F 日報ホール等を予定。

募集期間：2021年9月6日～2021年9月29日

事務局：(株)新潟日報社、(株)ナレッジライフ、(株)ビジネスコンサルタント(BCon)



プログラムのKey Wordとアジェンダ予定（3時間×6回を予定）

-Key Word-

持続可能性
(サステナビリティ)

異業種・他業界

創発・協働

※いづれの回も14:00～17:00

①第1回：森林資源の課題から、SDGs・サステナブルの理解を深める対話会(9月30日)

- ・森林資源の観点からSDGs・サステナブルについて考える(SDGs・サステナブルを正しく学習する)
- ・森林資源の課題の中で解決すべきテーマを設定する

②第2回：森林資源の有効活用について考える対話会 その1(10月25日)

- ・これまでの業界の枠を超えて、柔軟な発想でアイデアを考えてみる(アイデアを広げる考え方を学習する)

③第3回：森林資源の有効活用について考える対話会 その2(11月29日)

- ・これまでの業界の枠を超えて、柔軟な発想でアイデアを考えてみる(アイデアを広げる考え方を学習する)

④第4回：森林資源が循環するビジネスを考える対話会(12月16日)

- ・サプライチェーンで考える(サプライチェーンで考えるフレームワークを学習する)

⑤第5回：異業種、異業界で創発・協働してできるビジネスについて考える対話会(1月17日)

- ・自社の強みを活かせるか考える(オープンイノベーションで考えるフレームワークを学習する)

⑥第6回：私たちが今日から取り組めることについて考える対話会(2月21日)

- ・提言書としてまとめる

BConがサステナブル経営に着目する理由、国際NGO「The Natural Step」とのパートナーシップ

なぜ、BConがサステナブル経営を支援できるのか。

それは、サステナブルな世界の実現は必ず「ヒト」がなすことだからです。環境や社会、経済の持続可能性と、人間が営む組織が持続可能であるということはつながっています。目指す方向は見えています。あとは、組織を支える人たちを通して、戦略的にサステナビリティに向かう変革とイノベーションを起こしていくだけです。人と組織の変革を支援し続けて57年、サステナビリティのコンサルティングに取り組んで10年のBConだからご提供できることがございます。

国際NGO The Natural Step



ナチュラルステップは、環境・社会・経済の観点から持続可能な未来を実現するために、ビジョンや戦略策定を支援する国際NGOです。1989年にスウェーデンで設立。サステナビリティ、環境経営の最上位に位置する持続可能な開発の定義を提唱した。サステナビリティに先進的に取り組む行政、企業、業界団体等の変革を支援した豊富な実績を有します。

カール＝ヘンリック・ロベール博士



プレーキング工科大学教授、TNS設立者。「バックカスティング」を組織運営に取り入れ、持続可能な発展に戦略的に取り組むためのフレームワークを開発しました。地球環境問題のノーベル賞といわれるブループラネット賞を2000年受賞。

Future-Fit財団



Future-Fit財団は、「サステナブルな世界実現のために、すべてのビジネスが“Future-Fit（未来に適応）”を達成し、それを超越するパフォーマンスを発揮することを目指すNGOです。サステナビリティをビジネスの言葉で理解し、実行に移せるFuture-Fitビジネス・ベンチマークを開発。正しく目標を設定し、事業活動に戦略的に取り入れ、達成度を評価できます。企業によるSDGsへの取り組みを戦略的にサポートするツールとしても注目が高まっています。

BCon創業57年 人と組織の変革支援のノウハウ、ツール